

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和5年12月15日 事業所名 スローウォーク
 事業所名：放課後等デイサービス 児童発達支援・放課後等デイサービス スローウォーク

	チェック項目	現状評価	評価			ご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	・屋外スペースで卓球をしたり、近くの公園を活用している。	91	9	0		・縄跳びは車が通行しないアスファルトの道でしたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	・1人に1人体制をとり、定期的に職員研修を実施している。	88	12	0		・年度当初に研修計画を立て、計画的に研修に取り組んでいる。また、施設外での研修も参加
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	・刺激の少ない部屋、分かりやすい表示、段差を少なくする工夫をしている。	88	12	0	隣の教室が聞こえてくる声が大きくて、集中できないことがあったそうです。	・施設内の防音が少しでもできないか、考えた い。・利用者様がどの部屋を使うか考慮したい。 い。・どの部屋の時計も定期的に合わせていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	・毎日、全職員で掃除をして清潔で整った施設にするように心がけている。	97	3	0		・来年度も本年度の取組を継続したい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	・改善に向けての業務の見直しを職員の声を聴きながら取り組み、その結果を検討し、さらに改善をしている。	/	/	/		・職員の業務改善に対するPDCAサイクルをより明確な形ですすめたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・利用者様や運営会社の意見を積極的に取り入れている。	/	/	/		・今後も利用者様や運営会社、適切な外部評価ができる皆さんの意見を積極的に取り入れた
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・一ヶ月に一度以上、専門性を高めたり、安全・安心な運営ができるように職員研修を行っている。	/	/	/		・来年度も年度当初に年間研修計画を立てたい。
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	・アセスメントが正しくできるように全職員に対して研修をおこなっている。個別の支援計画を更新する際は、職員との支援会議を持ち、保護者とも定期的に懇談している。	97	3	0		・来年度も本年度の取組を継続したい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	・毎朝、職員朝会で前日の支援の様子を振り返り、それが次の支援に生きるように共通理解をしている。	100	0	0		・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	・相談支援事業所の計画と個別の支援計画をリンクさせ、具体的な計画を立てそれに沿って支援できるようにしている。	100	0	0		・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	4 チーム全体での活動プログラムの立案	・活動プログラムは指導員の意見を積極的に取り入れ、それぞれの指導員の良さを生かし立案している。	/	/	/		・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	5 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	それぞれに応じた支援ができるように、利用者様のご意見を積極的に取り入れた上で支援内容を決めている。	/	/	/		・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	6 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	・支援により利用者様の力が伸びるのは、定期的な支援をスモールステップで取り組むことと、利用者様の興味関心を大切にしたい取り組み内容の選択であると思われるので、その両輪を大切にしている。	88	12	0		・常に利用者様の活動の様子を交流し、興味関心を持って活動出来るようにしていきたい。
	7 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・支援開始前には、必ず打ち合わせを行い、安全・安心でかつ効果的で楽しい支援ができるようにしている。前回の支援とのつながりも大切にしている。	/	/	/		・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	8 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・翌日の職員朝会で、前日の子どもの様子を交流し合い、次回の支援に生かすようにしている。業務日報にその記録も残し、共有出来るようにしている。	/	/	/		・毎日、同じ職員が出勤しないので、業務日報などを活用し引き継ぎが確実にできるようにしたい。

	9	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日々の支援の記録は指導員が毎回記載し、児発管が全てに目を通し、保護者のスマホに送り、保護者とも共有出来るようにしている。					・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	10	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・利用者様や保護者の思い、相談支援センターの計画、指導員の見解などを話し合い、よりよい内容になるように常に見直しをしている。					・半年に一度の定期懇談をした上で個別支援計画の見直しをしているが、必要に応じてさらに細やかに対応していきたい。
	11	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・相談事業所、学校、他の施設の担当者が集う支援会議の前に、児発管と担当指導員とが十分に協議を重ねた上で出席をしている。					・現在の取り組みを継続発展していきたい。
関係機関との連携	1	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備						
	3	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・関係機関と連絡を密にして、情報を共有し円滑に移行出来るようにしている。					・来年度も保育園・介護施設などとの連携をとり進めたい。
	4	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・必要があれば、円滑な移行が出来るように情報提供等をする準備がある。					・小学校卒業後、さらに中学校と連携を取りたい。
	5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・必要であれば、こども支援センター、病院等の専門機関と連携し、よりよい支援に役立っている。センターが開催する研修には積極的に参加している。					・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	6	児等発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	・ハロウィンの行事では、利用者様が近くの保育園や介護施設に行き交流を行った。また、保育園児がスローウォークに来所して交流を行った。	3	63	34		・ハロウィンはやかった。子どもと保育園の先生、先生同士の交流もできたので、来年度も取り組みたい。
	7	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・事業所として地域住民を招く行事は計画していないが、必要に応じて施設について説明をし、理解を求めている。近隣の方が蝶の蛹を持ってきてくださる。					・地域住民に説明する機会があれば、積極的に出向いて説明していきたい。
保護者への説明	1	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・入所時や定期的なモニタリング時に個別支援計画を提示し説明し、保護者の意見を聞いている。利用者負担等については、契約時に丁寧にお伝えしている。	100	0	0		・さらに必要に応じて、適切な説明をしていきたい。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	・入所時や定期的なモニタリング時に個別支援計画を提示し専門用語を使わず丁寧に説明して、保護者の質問にも答えている。	100	0	0		・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	3	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	・保護者からの相談に対しては、その思いを十分に汲み取り、子どもへの関わり方について話している。	50	38	12	講演会の機会があるものの、参加できず申し訳ありません。	・来年度はペアトレ講師を招いて、保護者が参加しやすい形を考えたい。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	・メールまたは保護者来所時にお話を聞き、共通理解出来るように努めている。	91	9	0		・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	5	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	・LINEや保護者との連絡ツールを積極的に活用している。	84	16	0	いつもありがとうございます。	・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	・保護者も対象とした研修会や講演会を年に数回開催している。	25	59	16	保護者会の参加が出来ておらず、申し訳ありません。	・来年度も、保護者も参加できる講演会を開催したい。

寺	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・なるべく迅速に、分かりやすい対応を心がけている。	76	24	0		「どちらでもない」という保護者が24%もおられるので、その思いをくみ取れるように考えたい。
	8	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	・研修等で意思の疎通や情報伝達について学んだり、職員間で情報交換をしている。	97	3	0		・送迎の際にお話を聞けるようにしたり、モニタリング時以外でも相談できるようにしていきたい。
	9	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	・LINEや保護者との連絡ツールを積極的に活用している。	94	3	3		・施設での掲示も活用していきたい。
	10	個人情報の取扱いに十分注意されているか	・個人情報を守られるように文書管理をしっかりと行っている。職員にも知り得た情報について秘密を守る義務があることを徹底し啓発している。	97	3	0		・さらに管理を徹底したい。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	・必要なマニュアル全てを策定している。職員、保護者にも周知徹底している。	97	3	0		・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	・令和5年6月に地震想定避難訓練、令和5年9月に洪水想定避難訓練を職員で実施し、豊岡市にも報告済みある。令和5年10月には地震を想定した避難訓練を利用者様の実態に合わせて行った。	97	3	0		・本年度の取組を来年度も継続していきたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・職員研修で繰り返し学び、日々の支援の中でそういった事例がないかを共通理解している。					・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・研修を行い、適切に対応出来るようにしている。保護者への説明をする場合は、文書で提案するようにしたい。					・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・施設内で飲食を提供することはないので、現時点では発生していない。					・今後、事案があれば、適切に対応したい。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・職員会議でヒヤリハットについてはすぐに報告し合い、迅速に確実に対応出来るようにしている。					・本年度から安全点検も始めたが、来年度も取り組みたい。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか		91	9	0	ドローンは楽しかった子どもにとって苦手なことを訓練するので、行くのが嫌な時もある。ただ、気が向かなくても『行ってもいい』と思うことができることが素晴らしいと思います。これは先生方の温かいサポートのおかげです。	・利用者様一人ひとりに、「スローウォークは楽しいか」「何が楽しいか」「どんな力が伸びたと思うか」等、口頭で尋ねた。来年度も、口頭評価を続け子ども自身の思いを大切にサポートができるようにしていきたい。
	2	事業所の支援に満足しているか		100	0	0		・利用者様や保護者に満足していただける取り組みを今後も続けたい。